

令和8年
総務常任委員会
(重点調査項目)

ICT教育推進事業について

令和8年5月21日(木)
教育部

●事業の目的及び概要

事業の目的	事業の概要
GIGAスクール構想に基づくICT(情報通信技術)を活用した教育DXの推進	ICT機器を活用した「協働的な学び」、個々の理解にあわせた「個別最適な学び」の機会の確保や教育DXを推進するための環境を整備する。

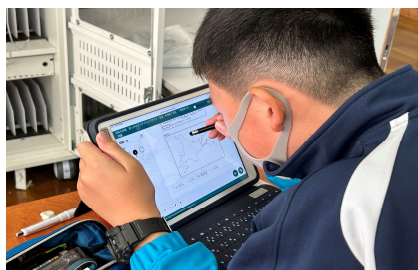
●国におけるGIGAスクール構想の動向

2019(R1)年12月	○	文部科学省により「GIGAスクール構想」公表 当初は2020(R2)年から4年間かけて、全国の小中学校にICT環境を整備する計画
2020(R2)年春	○	新型コロナウイルスの感染拡大により、全国で臨時休校が発生し、オンライン学習の必要性が拡大 整備の前倒しが行われ、2020(R2)年度中に多くの自治体で1人1端末が整備
2021(R3)年3月	○	児童生徒1人1台端末の整備完了
2021(R3)年以降	○	ICT環境を活用した授業が本格的に開始
2024(R6)年	○	GIGAスクール構想第2期開始 第1期で残された課題への対応に加え、端末の更新やICT技術の更なる活用、デジタルコンテンツの導入など

●岩見沢市における取組み

R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
活用基盤の整備	活用推進と学びの保障	学校内外での活用展開		デジタルコンテンツの検証	校務DXの推進	GIGA第2期への対応
児童生徒用端末の導入						生徒用端末の更新開始
	大型提示装置の整備 モバイルルーター貸与開始					
		クラウド版webフィルタリ ングサービス導入				
			日常的な持ち帰り開始 社会科副読本デジタル化			
				英語・算数(数学)デジタル 教科書の活用検証		
					全国学調(理科)のCBT化 汎用クラウドツール、保護 者連絡用ツール導入	

●1人1台端末を活用した学習（端末は文房具の一つとして認識へ）



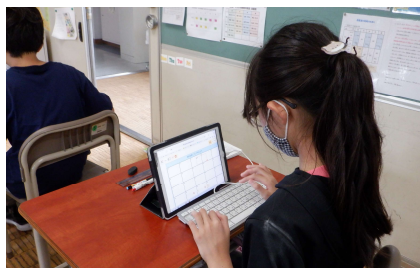
インターネットを活用した情報収集



動画撮影による学びの確認



端末を活用した説明(学びの共有)



授業の振り返りを蓄積



欠席してもオンラインで学習に参加



オンラインによる他校との合同学習

●デジタル社会科副読本の活用

- 最新版の提供が可能（毎年度、内容更新）
- 写真の拡大、動画の視聴が可能
- 市ホームページに掲載しており、児童生徒以外も活用が可能

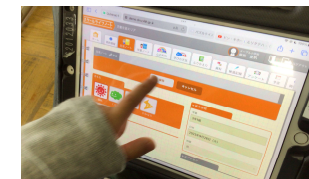


社会科副読本
(市ホームページ)

●学習以外でのICT活用事例

・心の健康観察

登校時に児童生徒が心の状態を「晴」「曇」「雨」「雷」から選択して入力。教職員からの声かけのきっかけとして活用している。



・生徒総会等のペーパーレス化

総会の議案書はすべて端末で確認。意見や質問なども端末で発信が可能となっている。



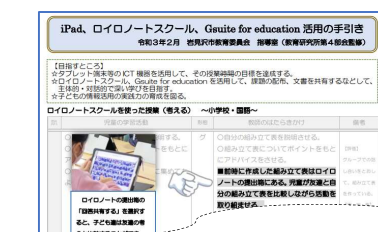
・登校支援室との出席情報の共有

登校支援室「みらいわ」を利用している児童生徒の出欠をGoogleスプレッドシートを活用して学校と共有。児童生徒が学校に登校しているか、登校支援室に登校しているか、欠席しているかをいつでも確認できる。

●ICT活用による教職員の業務効率化

・効果的な活用に向けた支援

教育研究所において、教職員を対象とした「端末を活用した授業展開の手引き」を作成するとともに、「効果的な学習アプリ」や「活用役立つヒント」などの情報を提供し、教職員の効果的な活用に向けた環境構築に取り組んでいる。



端末を活用した授業展開の手引き

・校務DXの推進

学校からの連絡や保護者からの欠席・遅刻連絡を一元管理できるアプリを導入。保護者にとっては電話連絡の手間が省け、情報の確認漏れが減るとともに、学校にとっても電話対応の時間が削減され、業務効率化につながっている。



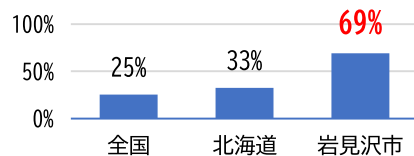
欠席・遅刻連絡の入力イメージ

●事業の効果（R6各種調査結果より抜粋）

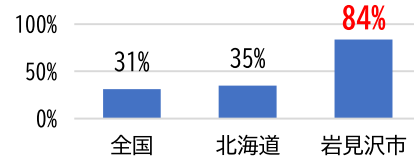
児童・生徒の状況（全国学力学習状況調査）

「ほぼ毎日、何らかの授業で端末を活用している」

小学校

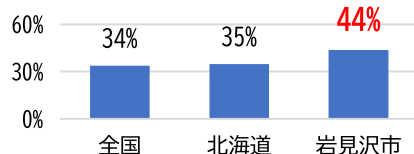


中学校

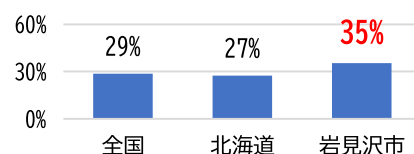


「自分のペースで学習を進めることができる」

小学校

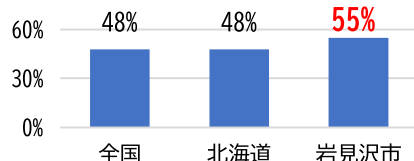


中学校

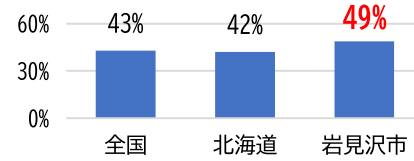


「画像や動画、音声等を活用することで学習内容が分かる」

小学校

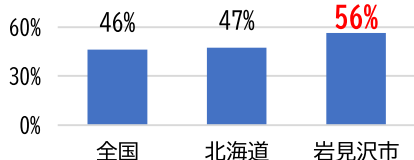


中学校

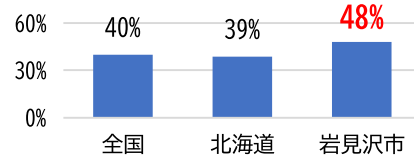


「友達と協力しながら学習を進めることができる」

小学校

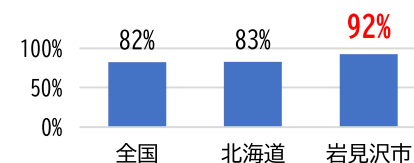


中学校

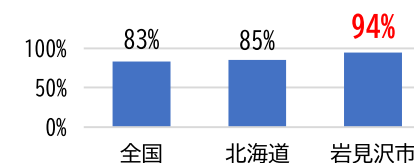


教職員のICT活用指導力の状況（学校における教育の情報化の実態等に関する調査）

授業にICTを活用して指導する能力

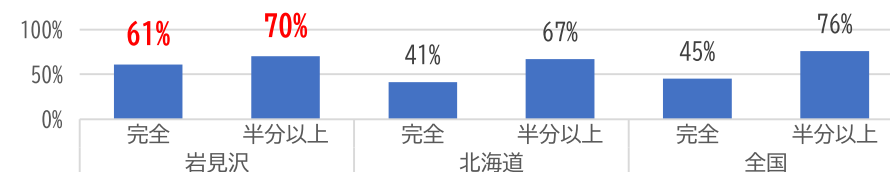


児童生徒のICT活用を指導する能力

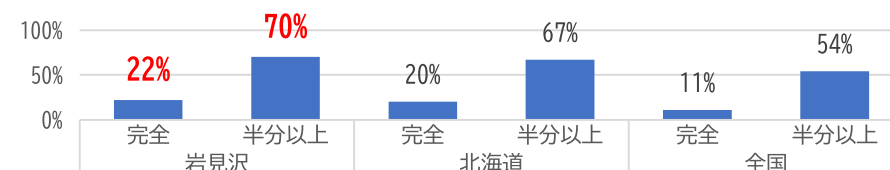


校務DXの進捗状況（GIGAスクール構想下での校務DX化に基づく調査）

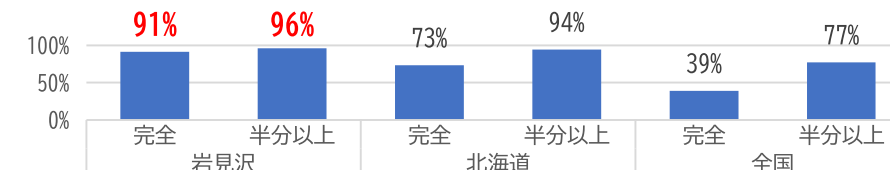
教員と保護者間の連絡のデジタル化（欠席・遅刻・早退連絡）※複数回答あり



教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化（調査・アンケートの実施）※複数回答あり



学校内の連絡のデジタル化（校内での資料共有）※複数回答あり



地域特性である高度情報通信基盤を最大限活用、他自治体に先駆けて様々な取組みを展開 ➡ デジタル活用状況は全国・全道値よりも高い水準
協働的な学び、個別最適な学びの効率的・効果的な展開 ➡ 主体性・社会性の向上、デジタル人材の育成（業務の効率化・働き方改革・サービス向上）